



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 218
May
2011

トピックス

国際会議への参加

第3回防災グローバル・プラットフォーム
世界復興会議

ADRCスタッフ紹介

荒川浩三 管理部長

お知らせ

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2011

●国際会議への参加

第3回防災グローバル・プラットフォーム世界復興会議 2011年5月8日-13日 ジュネーブ

1. 会議概要

2011年5月8日～13日にスイスのジュネーブで国連が主催する第3回防災グローバル・プラットフォームが開催され世界各国の政府機関や組織、地域機関などから2600人を超える参加がありました。今回は世界銀行が主催する第1回世界復興会議と同時並行で開催され、「より安全な明日のために今こそ防災投資をローカルレベルでの防災投資の促進」のテーマの下で2009年の第2回防災グローバル・プラットフォームや兵庫行動枠組2005-2015の中間報告も踏まえた議論が展開されました。

国連のパン事務総長は、開会にあたり、あらゆる技術や知見、経済手段等を活用し防災リスクを軽減させることが本会合の目的であると強調し、気候変動リスクや原子力リスクに対するレジリエンシーの構築と一体的な行動を一層加速させるよう呼びかけました。

5月10日からは本会合が開始、復旧復興、防災における経済性、気候変動適合とのシナジー等のテーマで議論が行われ、今後取るべき重要なステップについて議長声明が合意されました。

日本からは東防災担当副大臣が出席し、東日本大震災の概要と地震や津波による影響について情報提供するとともに、2012年にハイレベル防災会合、2015年の国連第3回世界会議の日本招致を表明いたしました。

2. アジア防災センター(ADRC)の活動内容

ADRCはアジアにおける早期警報の強化や宇宙技術の活用に関する会合を主催、東日本大震災に関する報告などを行うなど積極的な活動を行いました。

「アジアにおける早期警戒システムを活用した沿岸海洋リスクマネジメントのサイドイベント」は世界気象機構、ユネスコ、国連アジア太平洋経済社会委員会、風関連災害リスク低減のための国際グループ(IG-WDRR)等が主催したものであり、このセッションではアジア防災センターは東日本大震災の被害の概要や政府の対応等について説明を行い、参加者からは大きな関心が寄せられました。

また、国連UNSPIDER等とともに「宇宙技術を活用した防災リスク軽減のサイドイベント」を主催しました。このセッションではアジア防災センターは、センチネルアジアを紹介しアセアン能力強化事業のうちの衛星技術の防災活用に関する事業について説明を行うとともに、東日本大震災において衛星画像や航空写真



続き

等によるリモートセンシング技術の活用状況や被災地における通信衛星を活用した通信の活用等についての説明を行いました。

会場の中心にあるIGNITEステージにおいて、ADRCとIRPは共同で「東日本大震災—明日の安全に向けた投資への再考」をテーマに東北地方の防災対策のハード面（防潮堤、避難構造物）やソフト面（啓発活動、訓練）とその効果について説明を行いました。

マーケットプレイスでは、ADRCとIRPは日本政府とともに、展示を行い、東日本大震災に関するポスター（2枚）を提示するとともに、現地調査の報告書の配布等を行い、加えて、過去取り組んだ津波防災の教科書「稲むらの火」を展示し、多くの参加者から高い関心が示されました。



●ADRCスタッフ紹介 No. 41

荒川 浩三 管理部長

初めまして。2011年4月に、大西管理部長の後任として、兵庫県庁から派遣されました荒川浩三と申します。県庁では、広報、情報政策などさまざまな職務を経験してきておりますが、防災に関しては、広報課勤務時に、阪神・淡路大震災の発生10周年を機に、復興の取り組みを通じて、“できたこと、できなかったこと、なぜできなかったのか”を検証する「復興10年総括検証・提言事業」における作業に参加したことが深く印象に残っています。また、2010年まで当センターの近くにある兵庫県立美術館で営業、広報に携わったこともあり、1年を経て阪神・淡路大震災からの復興のシンボルプロジェクトでもあるこのHAT神戸の地に再び戻ってくることとなったのも、何かの縁と感じています。

ADRCでは、主として業務運営・財務管理業務に携わることになりますが、センターの一員として、微力ながら防災における国際協力という使命に貢献できる機会を与えていただいたことに大きな喜びを感じております。

皆様方の温かいご支援・ご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



●おしらせ

陸域観測技術衛星「だいち」に関して宇宙航空研究開発機構(JAXA)から発表がありました。
(http://www.jaxa.jp/press/2011/05/20110512_daichi_j.html)

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。